

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	535 地域拠点活力共創マネジメント事業						
予算科目	01-080401-24				担当部課	都市計画部周辺市街地振興室	
市長公約	82	84	85-2	86-2	係名		
戦略プラン	I-3	2	1	地域主体のまちづくり体制の構築推進		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	新たなつくばのグランドデザイン、研究学園地区まちづくりビジョン、中心市街地まちづくりビジョン				事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	自立的・持続的な周辺市街地の活性化を図る。
概要 (取組内容)	地域共創プラットフォーム（周辺市街地活性化協議会）の運営・組織強化支援 つくばR8地域活性化プランコンペティションの開催・採択プラン実施支援 市街地カルテの作成・更新 周辺市街地の資源・魅力の発見・発信

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	18,389	15,860	14,260	
	決算額	(千円)	0	0	17,788	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	8,988	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	8,800	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	8,139	8,139	8,139	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	545.00	545.00	545.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市街地カルテの作成・更新
企画・立案、計画	周辺市街地の資源・魅力発信、周辺市街地活性化協議会の会議開催等の支援、つくばR8地域活性化プランコンペティションの募集
実行	周辺市街地活性化協議会、つくばR8地域活性化プランコンペティションの採択プラン支援
評価、検証	つくばR8地域会議（成果報告会）の開催

指標の推移

1	指標名	つくばR8地域会議（8市街地合同勉強会）への参加者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	100.0	120.0	140.0	160.0	180.0
	実績	94.0	394.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	（個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標）					

2	指標名	地域人材を養成する講座・セミナー等への参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	40.0	50.0	60.0	70.0	80.0
	実績	38.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I -3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					
3	指標名	周辺市街地活性化協議会における会議等の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16.0	32.0	40.0	48.0	56.0	64.0
	実績	26.0	47.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I -3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各活性化協議会のSNS等を整備し (Facebook) 、活動の情報発信を行えるように環境の整備を行った。	
成果	協議会活動を周知する手段として、SNS等の環境整備を行った。SNSの運用は各協議会の自主性に任せて行ったが、運用を実施した協議会からは、地域住民の協議会活動の認知度が向上したという声が上がっている。	
課題	業務	持続可能な協議会活動に向けて、自己資金の獲得、人材の確保が課題となっている。
	組織、予算等	特になし
改善目標	協議会活動の自走化に向けて、専門家等による勉強会等の開催や伴走支援を行っていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	536 周辺市街地活性化チャレンジ補助金						担当部課	都市計画部周辺市街地振興室
予算科目	01-080401-24						担当部課 係名	
市長公約	90-2	93-4	96-2					
戦略プラン	I-3	2	1	地域主体のまちづくり体制の構築推進			新規・継続	継続
							事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	補助金（直接）
個別計画	特になし						事業期間	期間限定複数年度
根拠法令等	特になし						SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民（周辺市街地活性化協議会）
目的	地域主体の地域活性化に関する取組を支援する。
概要 (取組内容)	周辺市街地活性化協議会（8周辺市街地毎に1団体を認定）へ上限50万円の補助金を支出するなどし、地域活性化の取組を支援する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	4,000	4,000	6,000	
	決算額	(千円)	0	0	3,352	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	3,352	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	2,442	2,442	2,442	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	163.50	163.50	163.50
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	回覧板
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	つくばR 8 地域会議（成果報告会）

指標の推移

1	指標名	周辺市街地活性化協議会の加入者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	64.0	80.0	96.0	112.0	128.0	144.0
	実績	150.0	216.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	協議会への新規参加者を獲得するために、SNSやHPを活用して行っている活動のアピールを行った。	
成果	各協議会においても、市と連動してSNS等を活用していった結果、協議会に新規で参加する方や、活動に興味を持って問合せを多数受けた、認知度が上がったとの意見が出てきている。	
課題	業務	令和3年度で補助金制度が3年目を迎えるため、制度の見直しを図る必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	令和3年度中に補助金制度の見直しを行い、令和4年度より新たな制度を運用していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	042 学校跡地地域運営拠点事業					
予算科目	01-080401-24			担当部課	都市計画部周辺市街地振興室	
市長公約				係名		
戦略プラン	I-3	2	2	地域づくり拠点の形成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	地域住民、小田地域への来訪者
目的	学校跡地を核とした地域コミュニティの醸成及び小田地域への来訪者の市街地内への呼び込み・周遊促進を図る。
概要 (取組内容)	地域コミュニティ拠点の管理・運営方法の検討支援 利用者獲得支援 地域コンテンツ・メニューの検討・実施支援 地域の情報発信支援

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	7,406	11,340	6,520	
	決算額	(千円)	0	0	7,264	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	3,754	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	3,510	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	5,697	5,697	5,697	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	381.50	381.50	381.50
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	小田地域まちづくり勉強会・住民説明会の開催
企画・立案、計画	アイデアソン・試行的イベントの開催
実行	ホームページ、広報紙やSNSでの情報発信
評価、検証	地域の運営主体との定例会議、住民説明会の開催

指標の推移

1	指標名	旧小田小学校でのイベント等開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	14.0
	実績	5.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)						

2	指標名	旧小田小学校を活用した企画運営に関わった地域住民数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	40.0	50.0	60.0	70.0	80.0
	実績	28.0	33.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I -3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	チラシ作成や市報などにより、旧小田小学校の拠点の案内を行った。	
成果	旧小田小学校を拠点とした新たなコミュニティが形成されるなど、一定の効果が得られた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—